

経 営 状 況 報 告 書
(第 3 0 期)

自 令和元年10月 1日
至 令和2年 9月30日

株式会社 ちば南房総
千葉県南房総市富浦町青木123番地1

1 営業報告書

(1) 概況

内閣府は、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があると伝えている。

今期の営業成績は、総売上で4億2300万円と1億9600万円減少し、前期を31.7%下回る結果となった。内訳は、営業売上が32.9%観光売上は、78.2%減少。昨年9月9日未明に襲来した台風15号及び新型コロナウイルス感染症により観光客が激減し売上に影響する。経費の節減や持続化給付金・雇用調整助成金等の活用もするが2期連続で赤字計上となった。

営業売上については、新型コロナウイルス感染症による観光客の減少、特にゴールデンウィークの営業自粛が売上減の大きな要因にあげられる。また、昨年の台風15号により甚大な被害を受けた「房州びわ」の不作が売上に影響した。

観光バス実績も、営業売上同様に減少する。受け入れバス台数532台（前期1,659台 △1,127台）、バス人数15,560人（前期49,295人 △33,735人）

新型コロナウイルス感染症により、観光トップシーズンの2月・3月はキャンセルが続出し、5月・6月のびわ狩りについては受入を断念したため、大きく前期を下回る結果となった。

10月1日に南房総市内の第三セクター、株式会社ちば南房総・株式会社富楽里とみやま・株式会社千倉黒潮物産センターが合併し、新生「株式会社ちば南房総」として新たなスタートを切った。6つの道の駅（とみうら枇杷倶楽部・おおつの里花倶楽部・三芳村鄙の里・ローズマリー公園・富楽里とみやま・ちくら潮風王国）と「千葉県酪農のさと」を含め7つの施設を運営する。

新型コロナウイルス感染症による生活スタイルの変化に対応する、地域農水産物の振興・市内への観光客の拡大等を図り、各事業の連携を強化し、業務の効率化を実現し、収益性を高め黒字経営を目指す。

(2) 損益の推移

項 目	第30期 (今期)	第29期 (前期)	第28期 (前々期)
売 上 高	422,779,453 円	618,736,801 円	632,291,004 円
売 上 原 価	189,707,331 円	310,492,915 円	318,104,436 円
売上総利益金額	233,072,122 円	308,243,886 円	314,186,568 円
販売費及び一般管理費	301,840,760 円	319,357,948 円	315,059,180 円
営業利益金額	△ 68,768,638 円	△ 11,114,062 円	△ 872,612 円
営業外収益	2,103,240 円	1,787,796 円	2,735,673 円
営業外費用	90,520 円	- 円	- 円
経常利益金額	△ 66,755,918 円	△ 9,326,266 円	1,863,061 円
特別利益	23,173,157 円	2,812,003 円	- 円
特別損失	2,154,011 円	5,910,270 円	2 円
税引前当期純利益金額	△ 45,736,772 円	△ 12,424,533 円	1,863,059 円
法人税、住民税及び事業税	530,000 円	530,000 円	665,100 円
当期純損失金額	△ 46,266,772 円	△ 12,954,533 円	1,197,959 円

(3) 観光バス誘致状況

項 目	第30期 (今期)	第29期 (前期)	第28期 (前々期)
誘 致 台 数	532 台	1,659 台	2,084 台
誘 致 人 数	15,560 人	49,295 人	66,057 人

(4) 観光事業誘致状況

項 目	第30期 (今期)	第29期 (前期)	第28期 (前々期)
食 事 幹 旋	1,372 人	4,723 人	5,845 人
花 関 連	3,306 人	17,551 人	27,402 人
果 物 関 連	6,398 人	15,443 人	21,680 人
野 菜 関 連	213 人	1,517 人	1,012 人
体 験 ・ そ の 他	7,825 人	24,238 人	27,069 人
合 計	19,114 人	63,472 人	83,008 人

(5) JR誘致状況

項 目	第30期 (今期)	第29期 (前期)	第28期 (前々期)
誘 致 人 数	30 人	1,051 人	1,600 人

(6) 南房総市内地域 (経済) 波及効果

項 目	第30期 (今期)	第29期 (前期)	第28期 (前々期)
地 域 波 及 金 額	236,263,520 円	306,250,141 円	284,238,928 円

2 会社概要

(1) 株式の概要

株式数	当期発行株式総数	0 株
	発行済株式の総数	1, 900 株
	資本金額	95, 000, 000 円
	資本準備金	20, 150, 000 円
当期末株主数		1 名

(2) 株主総会及び取締役会の開催状況

ア 定時株主総会

- ① 開催日 令和元年11月28日
- | | | |
|----|-------|--|
| 議案 | 第1号議案 | 株式会社ちば南房総第29期営業報告書の内容報告の件並びに第29期貸借対照表・損益計算書及び株主資本等変動計算書、個別注記表承認に関する件 |
| | 第2号議案 | 取締役改選に関する件 |
| | 第3号議案 | 役員報酬に関する件 |

イ 臨時取締役会

- ① 開催日 令和2年7月30日
- | | | |
|----|-------|--|
| 議案 | 第1号議案 | 株式会社富楽里とみやま及び株式会社千倉黒潮物産センターとの合併契約書承認の件 |
| | 第2号議案 | 定款一部変更の承認の件 |
| | 第3号議案 | 取締役・監査役選任の件 |

ウ 取締役会

- ① 開催日 令和元年11月28日
- | | | |
|----|-------|--|
| 議案 | 第1号議案 | 株式会社ちば南房総第29期営業報告書の内容報告の件並びに第29期貸借対照表・損益計算書及び株主資本等変動計算書、個別注記表承認に関する件 |
| | 第2号議案 | 代表取締役選定に関する件 |
- ② 開催日 令和2年3月30日
- | | | |
|----|-------|-----------------|
| 議案 | 第1号議案 | 営業状況に関する件 |
| | 第2号議案 | 合併基本合意書の承認に関する件 |
- ③ 開催日 令和2年7月7日
- | | | |
|----|-------|-------------|
| 議案 | 第1号議案 | 合併契約書承認の件 |
| | 第2号議案 | 合併新役員候補選任の件 |
- ④ 開催日 令和2年7月30日
- | | | |
|----|-------|------------|
| 議案 | 第1号議案 | 運転資金借り入れの件 |
|----|-------|------------|

(3) 取締役及び監査役（令和2年9月30日現在）

① 代表取締役社長	石 井 裕	(南房総市長)
② 代表取締役副社長	加 藤 文 男	(観光カリスマ 初代駅長)
③ 取締役	穂 積 昭 治	(安房農業協同組合理事)
④ //	仲 島 文 作	(南房総市観光協会理事)
⑤ //	角 田 明 美	(地区代表)
⑥ //	福 原 正 和	(南房総市商工観光部長)
⑦ //	鈴 木 賢 二	(株ちば南房総統括部長)
⑧	小 野 恵 二	(南房総市観光プロモーション課長)
⑨ 監査役	川 名 洋 充	(地区代表)
⑩ //	福 原 孝 雄	(南房総市監査委員)

(4) 従業員の状況

(令和2年9月30日現在)

区 分	正 社 員	準 社 員	合 計
男子社員	8 人	4 人	12 人
女子社員	3 人	5 人	8 人
合 計	11 人	9 人	20 人

(5) 主な営業所

本 社	南房総市富浦町青木123番地1	道の駅とみうら枇杷倶楽部
営業所	南房総市富浦町大津320番地	道の駅おおつの里花倶楽部
//	南房総市川田82番地2	道の駅「三芳村」鄙の里
//	南房総市白子1501番地	道の駅ローズマリー公園
//	南房総市大井686番地	千葉県酪農のさと

3 決算報告書

決 算 報 告 書

(第 30 期)

自 令和 元 年 10 月 1 日
至 令和 2 年 9 月 30 日

株 式 会 社 ち ば 南 房 総

南 房 総 市 富 浦 町 青 木 1 2 3 - 1

貸借対照表

株式会社 ちば南房総

令和 2年 9月30日 現在

(資 産 の 部)

【流 動 資 産】

現金・預金	132,948,771
売掛金	2,417,511
信用売掛金	4,419,054
商品	19,604,569
半製品	13,109,542
製品	1,007,838
原材料	2,762,281
貯蔵品	5,260,902
前払費用	1,937,577
未収入金	9,004,288
立替金	360,247
仮払経費	80,190

流動資産合計

192,912,770

【固 定 資 産】

(有形固定資産)

建物	70,161,972
建物付属設備	6,886,760
機械装置	7,869,172
園芸設備	4,577,133
車両運搬具	383,620
工具器具備品	2,260,992
構築物	4,287,828

有形固定資産合計

96,427,477

(無形固定資産)

電話加入権	871,224
ホームページ	1,057,410
ソフトウェア	60,480
書画骨董品	2,247,000

無形固定資産合計

4,236,114

(投資その他の資産)

出資金	50,000
預託金	121,160
営業保証金	3,000,000

投資その他の資産合計

3,171,160

固定資産合計

103,834,751

資産合計

296,747,521

(負 債 の 部)

【流 動 負 債】

買 掛 金	10,236,692	
未 払 費 用	17,891,875	
未 払 法 人 税 等	530,000	
前 受 金	24,973,000	
預 り 金	1,824,320	
	<hr/>	
流 動 負 債 合 計		55,455,887

【固 定 負 債】

長 期 借 入 金	40,000,000	
	<hr/>	
固 定 負 債 合 計		40,000,000
負 債 合 計		<hr/> 95,455,887

(純 資 産 の 部)

【株 主 資 本】

資 本 金		95,000,000
(資 本 剰 余 金)		
資 本 準 備 金	20,150,000	
	<hr/>	
資 本 剰 余 金 合 計		20,150,000
(利 益 剰 余 金)		
利 益 準 備 金	600,000	
そ の 他 利 益 剰 余 金	85,541,634	
繰 越 利 益 剰 余 金	85,541,634	
	<hr/>	
利 益 剰 余 金 合 計		86,141,634
株 主 資 本 合 計		<hr/> 201,291,634
純 資 産 合 計		<hr/> 201,291,634
負 債 ・ 純 資 産 合 計		<hr/> <hr/> 296,747,521

損益計算書

株式会社 ちば南房総

自 令和元年10月 1日
至 令和 2年 9月30日

【売 上 高】			
営業売上高		326,162,032	
観光売上高		9,626,040	
業務受託収入		15,563,837	
受託手数料収入		2,336,499	
指定管理収入		69,091,045	422,779,453
【売上原価】			
期首棚卸高		36,594,878	
商品仕入高	182,767,595		
観光仕入高	6,829,088	189,596,683	
期末棚卸高		436,484,230	189,707,331
売上総利益金額			233,072,122

【販売費及び一般管理費】

役員報酬	1,500,000
給料手当	63,456,164
雑給	64,797,921
法定福利費	17,793,820
厚生費	5,887,933
外注費	4,410,876
旅費交通費	683,520
通信費	3,005,288
交際接待費	180,135
会議費	67,260
減価償却費	12,588,479
賃借料	3,666,644
保険料	1,599,871
修繕費	8,417,185
水道光熱費	22,630,959
燃料費	771,230
消耗品費	24,552,900
租税公課	11,526,180
荷造運賃	7,994,440
事務費	4,630,287
広告宣伝費	1,101,988
手数料	595,032
諸会費	442,315
施設維持費	8,437,241
業務受託費	14,305,655

地 代 家 賃	11,019,949	
研 究 研 修 費	2,628,869	
雜 費	3,148,619	301,840,760
營業損失金額		△68,768,638
【營業外収益】		
受 取 利 息	743	
受 取 配 当 金	160	
雜 収 入	2,102,337	2,103,240
【營業外費用】		
支 払 利 息 ・ 割 引 料		90,520
經常損失金額		△66,755,918
【特別利益】		
受 取 保 険 金	11,957,960	
補 助 金 収 入	11,215,197	23,173,157
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	319,377	
災 害 損 失	1,834,634	2,154,011
税引前当期純損失金額		△45,736,772
法人税、住民税及び事業税		530,000
当期純損失金額		△46,266,772

株主資本等変動計算書

株式会社 ちば南房総

自 令和元年10月 1日
至 令和 2年 9月30日

単位：円

	株主資本							純資産合計
	資本金		資本剰余金		利益剰余金			
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金合計	利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計			その他利益剰余金	繰越利益剰余金	
当期首残高	95,000,000	20,150,000	20,150,000	600,000	131,808,406	132,408,406	247,558,406	247,558,406
当期変動額								
当期純損失					△46,266,772	△46,266,772	△46,266,772	△46,266,772
当期変動額合計	-	-	-	-	△46,266,772	△46,266,772	△46,266,772	△46,266,772
当期末残高	95,000,000	20,150,000	20,150,000	600,000	85,541,634	86,141,634	201,291,634	201,291,634

個別注記表

株式会社 ちば南房総

自 令和元年10月 1日

至 令和 2年 9月30日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額

373,341,604円

4 監査報告書

株式会社ちば南房総

自 令和元年10月1日

至 令和2年9月30日

上記事業年度に於ける、決算報告書及び株主資本等変動計算書を監査した結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

令和2年11月26日

監査役	川名洋充
監査役	福原孝雄
監査役	足達崇
監査役	石井正利

5 第31期事業計画（令和2年10月1日～令和3年9月30日）

（1）経営目標

南房総市内第三セクター3社の合併により、経営基盤及び新規事業の創造力と地域振興を強化することを目的に、新生株ちば南房総として新たな事業展開を進め、地域農水産業の振興・市内への観光客の拡大をしつつ、業務の効率化を図り、収益性を高め黒字経営を実現する。

（2）基本方針

- ① 地域・市との連携強化による厳しい社会・経済環境からの早期脱却
- ② 道の駅間の連携強化による重点的な取り組みの実施（担い手の育成、誘客システムの拡充、ネット販売の強化、ポイントカードの導入等）
- ③ 総務関連業務の効率化と組織・人事体制の見直し

（3）道の駅別事業計画

① 道の駅とみうら枇杷倶楽部

（1）営業目標

通販・卸売・テイクアウトの拡大、日曜朝市による地元客の取り込み等により売上の回復を図る。

（2）重点的な取り組み

- ・ECサイト「南房総アンテナショップ」の商品を充実させ、ネットショッピング売上アップを図る。
- ・地元客を取り込むため現在不足している農海産物の取り扱いを強化する。
- ・テイクアウトメニューの強化・売上アップを図る。
- ・ポイントカードシステム導入により、新規ユーザー獲得とリピーターへの情報提供を強化する。

② 道の駅おおつの里花倶楽部

（1）営業目標

新しい時代に対応した新会社として、売るものや売り方を新たに構築し、施設の舵をきるマネジメントを確立する。

（2）重点的な取り組み

- ・密を回避できる南房総ならではの様々素材と、合併による連携を有効活用する。
- ・経費を削減しながらも、消費者ニーズに応える魅力ある農産物を栽培し、栽培品目の規模を見直す。
- ・ふるさと納税商品の提供と、効率的かつ魅力的な花宅配を拡大する（県内外の生産者開拓）。
- ・地域おこし協力隊制度を活用し、花倶楽部後継者を含め地域産業の担い手を育てる。

③ 道の駅富楽里とみやま

(1) 営業目標

新たな集客方法や販売方法を確立し、対前年比20%増を目標とする。

(2) 重点的な取り組み

- ・新しい生活様式を機能的に取り入れ、安心して滞在できる店舗づくりを展開する。
- ・主力商品である農産物の品揃えを強化する。
- ・改修工事期間の機能的な営業方法を検討する。

④ 道の駅「三芳村」鄙の里

(1) 営業目標

個人消費者向けの細かい気配りのある商品構成に転換し、年間4億円を目標とする。

(2) 重点的な取り組み

- ・直売所との連携により、新規農産物を開拓する。
- ・薪ボイラーの有効活用等、地域資源を活かしながら、エコ観光ツアーを開発する。

⑤ 道の駅ちくら・潮風王国

(1) 営業目標

直営の売上を強化し、道の駅全体で2018年度の90%越えの売上を達成する。

(2) 重点的な取り組み

- ・空きテナントの誘致、もしくは自社による有効活用を図る。
- ・直営店（潮風プラザ・野菜市場・コロケ）の売上拡大策を実施する（ポスレジの導入、商品構成の見直し、野菜市場の運営方法等）
- ・誘致のための観光資源である露地花畑の休耕地対策を講じる（地元生産者への協力依頼、第三者への委託等）。

⑥ 道の駅ローズマリー公園

(1) 営業目標

地元の方の作品などの委託商品と体験メニュー及び講師の開拓により、売上の回復を図る。

(2) 重点的な取り組み

- ・SNS等を利用した商品紹介、情報発信を強化する。
- ・季節に合わせた体験教室を開催する。
- ・はなまる市場からの導線を再構築する。

⑦ 千葉県酪農のさと

(1) 営業目標

日本酪農の発祥地としての歴史的な価値を高め、講演会の開催、体験メニューの充実を図り、賑わいを創出する。

(2) 重点的な取り組み

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、安全管理を徹底する。
- ・歴史に関する資料の収集、調査研究に対する企画展や講演会を定期的を実施する。
- ・引き続き地元の小学生の絵画展・公民館サークル作品展等を定期的を開催する。
- ・前期白牛を2頭導入し3頭となったため、SNS等でPRし集客に努める。

(4) 道の駅間連携による重点的な取り組み

- ① 「花倶楽部」の農業研修機能の発揮による担い手育成支援
- ② 一括受発注システムのエリアの拡大と個人対応システムの創設
- ③ 道の駅共通のポイントカードの導入
- ④ 地域特産品のネットショッピング事業の拡充
- ⑤ 農水産物を主体とした移動販売等の実施
- ⑥ 道の駅間の応援体制の整備
- ⑦ 休耕田を活用した景観作物の作付け
- ⑧ 環境保全活動の推進

(5) 総務関連業務の調整

業務の効率化・経営のスリム化を図り、既存取引先の情報共有や比較によるコストを縮減し、労務規約や商流の整理により統合後の円滑な業務継続を図ることを基本方針として、総務関連業務の調整を実施する。

6 決算後に生じた会社の状況

(1) 第3セクターの合併

令和2年10月1日 株式会社ちば南房総、株式会社富楽里とみやま及び株式会社千倉黒潮物産センターが合併し、新生「株式会社ちば南房総」として、新たなスタートをきる。

商品開発販売事業、地域振興事業、道の駅魅力アップ事業及び集客事業の4つのプロジェクトを立ち上げ、活動を開始する。

(2) 株式の概要

① 株式数	当期発行株式総数	0 株
	発行済株式の総数	1, 900 株
	資本金額	95, 000, 000 円
	資本準備金	20, 150, 000 円
② 当期末株主数		1 名

(3) 取締役及び監査役

① 代表取締役社長	石井 裕	南房総市長
② 代表取締役副社長	加藤 文男	
③ 取締役	穂積 昭治	
④ 取締役	角田 明美	
⑤ 取締役	渡邊 正昭	
⑥ 取締役	近藤 周平	
⑦ 取締役	川崎 吉一	
⑧ 取締役	佐藤 光男	
⑨ 取締役	堀江 洋一	一般社団法人南房総市観光協会
⑩ 取締役	福原 正和	南房総市商工観光部長
⑪ 取締役	石井 克仁	南房総市観光プロモーション課長
⑫ 取締役	鈴木 賢二	統括部長
⑬ 取締役	宇畑 延輝	施設部支配人（外房）
⑭ 取締役	池田 文子	施設部支配人（内房）
⑮ 監査役	福原 孝雄	南房総市監査委員
⑯ 監査役	川名 洋充	
⑰ 監査役	足達 崇	
⑱ 監査役	石井 正利	

(4) 従業員数

① 正社員等	25 名
② パートタイマー	74 名

